

# 医療法人永康会 若松歯科医院 SDGs宣言



当院は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、以下の取り組みを通じて地域医療の発展と持続可能な社会の実現を目指すことを宣言します。

歯科医師 若松 宏幸

## 当社のSDGsへの取り組み

### 1. 患者様の「未来」を考えた最適な治療

全世代の患者様の口腔の健康状態を良好に保つことで、全身の健康を維持し、患者様の健康寿命を延伸します。

<具体的な取り組み>

- 定期検診や予防治療を通じて、患者様ご自身の歯を残す治療を推進し、健康寿命を延伸。
- 地域住民に対して講演やワークショップなどの健康教育を行い、口腔衛生の重要性を啓発。
- KIS（歯科医師のグループ）との情報交換を通して、新しい治療技術や最新の医療情報を共有し、常に高い医療水準を維持。



### 2. 社員誰もが輝く職場環境

社員が働きがいをもって、誠実に職務に励み、充実したワークライフバランスを実現できる職場環境づくりに努めます。

<具体的な取り組み>

- スタッフが働きやすい環境を整備するため、労働時間の短縮と毎年の待遇を改善。また、当院では女性スタッフが長く働くことができるよう産休、育休制度を充実化。
- スタッフに対しては定期的な研修の受講機会をもうけ、専門知識とスキルの向上を支援。
- 定期的なカウンセリングやストレス管理の面談を実施。



### 3. 地域医療への貢献、地域との共生

地域の歯科医院と連携し、予防歯科教育に従事します。また、以下の取り組みを通じて泉州エリアをいつまでも住み続けられるまちとするため社会貢献を続けます。

<具体的な取り組み>

- 歯科医師会の会長として、地域の歯科医院との連携を深め、地域包括ケアシステムの構築に貢献。
- 泉州エリアで開業を志す研修医をアルバイトとして採用し、歯科医師を多数輩出。
- 赤ちゃん検診や熊取町のふれあい検診を通じて、口腔衛生への関心を醸成。
- 泉佐野市の子ども食堂「キリンの家」への寄付やだんじり、少年野球への協賛を通じて子どもたちの挑戦を応援。



SDGsとは・・・Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略であり、2015年9月に国連で採択された世界共通の目標です。2030年までに政府、企業、地域社会のあらゆる人がSDGsを実現するための役割を担っています